

食物アレルギーに注意が必要な薬剤を回避した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、食物アレルギーのある患者に投与予定の薬剤を確認することで、アレルギー症状の発現を回避することができたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶特発性側弯症の手術目的にて入院された患者

【術後から使用予定の鎮痛剤】
ロピオン静注 50mg



A さん



A さん

A さんは、今までに薬剤で体調が悪くなったり、お体に合わなかったりしたことはありませんか？

おくすりでは、ありません。



薬剤師



薬剤以外で、何かアレルギーなど、摂ってはいけないものがありますか？

卵アレルギーがあるので、管理栄養士さんともお話しして、食事の内容を変えてもらうことになりました。



医師

A さんに術後使用予定のロピオンですが、添加物として精製卵黄レシチンが含まれているため、卵アレルギーがある方には注意が必要な薬剤です*。
可能なら、アセリオなど他の薬剤に変更はいかがでしょうか。

*参照：DI ニュース 2021 年 9 月 1 号

なるほど。万が一アレルギー症状が出ては大変なので、アセリオに変更しましょう。



術後の鎮痛剤がロピオンからアセリオに変更となり、術後問題なく経過した。

食物アレルギーのある患者に投与予定の薬剤を確認することで、安全な薬物療法に貢献できた。